

漆器

JAPANWARE

2011

6.18^{sat}-7.31^{sun}

開館時間=10時-17時

(入館は16時半まで)

文理融合型研究から見えてきた
漆の過去・現在・未来



入場料=300円

(明治大学学生・教職員、高校生以下の児童・生徒及び引率教諭、明治大学博物館友の会会員、明治大学リバティアカデミー会員、明大カード会員、身体障害者手帳・愛の手帳所持者とその介助者は無料)

明治大学創立130周年記念博物館特別展

主催=明治大学博物館

共同企画=明治大学バイオ資源化学研究所 明治大学日本先史文化研究所

後援=千代田区 二戸市うるし振興室 財団法人伝統的工芸品産業振興協会
社団法人日本漆工協会

漆 JAPANWARE 器

文理融合型研究から見えてきた —— 漆の過去・現在・未来

空気に触れると時間をかけて固化する神秘の物質—漆（うるし）。

その性質を利用し、塗料として、あるいは接着の材料として活用することにより、我々の祖先は絢爛たる金蒔絵や螺鈿に象徴される輝かしい漆文化を作り上げてきました。

漆器の歴史は古く縄文時代にさかのぼり、現在もなおその伝統技法は近代機械工業との軋轢を経て生活実用品の中にも脈々と受け継がれていますが、将来に向け、特殊なジャンルの商品としてしまうのではなく、その存在意義を現実社会の中にどう位置付けてゆくのか、工業製品としていかに普及されるべきかが課題となっています。

この展覧会では、明治大学が取り組む漆関係の研究—「縄文時代の漆文化」「現代商品としての漆器」「次世代高機能材料としての漆」、そして、大学創立130周年記念事業の共通コンセプト「世界へ」をテーマに、我が国の漆文化を再考する機会をご提供します。

- 神秘の物質を科学する — 漆の科学分析 —
- 人はなぜ漆を使うのか？ — 縄文時代の漆文化 —
- 歴史の中の漆器
- アジアに広がる漆文化
- 今われわれは？ — 漆器の現在 —
- 漆利用の可能性を拓く — 次世代高機能材料としての漆開発 —



関連企画 明治大学リバティアカデミー講座

オープン講座「漆文化のはじまりと広がり」 2011年7月2日(土) 13:00~17:00

会場 明治大学リバティタワーB1F 1001教室

漆とは何か？(宮腰哲雄・理工学部応用化学科教授) / 縄文時代の漆文化(阿部芳郎・文学部史学地理学科教授) / アジアの漆文化(宮里正子・浦添市美術館館長) / 科学の目から見る“漆”の世界(本多貴之・理工学部応用化学科専任講師)

※どなたでも受講できます 受講料¥1,000 明大生・リバティアカデミー会員は無料 要申込

漆アカデミー「漆を知り、使って楽しむ」 2011年6~7月の土曜日 15:00~16:30 全6講

6/11 漆の魅力(宮腰哲雄・理工学部応用化学科教授)、6/18 漆器製品の見方・買い方(外山 徹・当館学芸員)、6/25 江戸の漆器椀(追川吉生・文学部兼任講師)、7/9 暮らしの器をプロデュースする(桐本泰一・輪島キリモト代表補佐)、7/16 漆の弱点を考える(神谷嘉美・東京都立産業技術研究センター研究員)、7/23 漆の年代と産地(吉田邦夫・東京大学総合研究博物館教授)

※受講には明治大学リバティアカデミーへの入会が必要となります(入会金¥3,000) 受講料¥15,000 要申込

■ 講座申込・問合せ 明治大学リバティアカデミー事務局 03-3296-4423 <http://academy.meiji.jp>



明治大学博物館

東京都千代田区神田駿河台 1-1
TEL03-3296-4448
<http://www.meiji.ac.jp/museum/>

交通機関

JR御茶ノ水駅徒歩5分 地下鉄御茶ノ水駅(丸ノ内線)徒歩8分
地下鉄新御茶ノ水駅(千代田線)徒歩8分
地下鉄神保町駅(新宿線・三田線・半蔵門線)徒歩10分

